

# 全労金2024春季生活闘争ニュース・第32号

～勝ち取ろう賃金改善！進めようジェンダー平等！みんなで一歩先のステージへ！～

《合意速報No. 13》

## 東海労組が関連会社との団体交渉で、基本合意を表明しました！

東海労組は、3月19日16時から、関連会社と「団体交渉」を開催し、基本合意を表明しました。要求と回答は以下の通りです。

		要 求			回 答		
		正社員	契約社員 特務社員	金庫からの再雇 用嘱託社員	正社員	契約社員 特務社員	金庫からの再雇 用嘱託社員
基本賃金	改善内容	9,000円	9,000円 (時給60円)	9,000円 (時給60円)	5,500円	5,500円 (時給30円)	7,300円 (時給40円)
	定昇相当分 (実在者平均)	—	—	—	—	—	—
	合 計	9,000円	9,000円 (時給60円)	9,000円 (時給60円)	5,500円	5,500円 (時給30円)	7,300円 (時給40円)
一時金		3.1	2.0	2.0	3.1	1.0	2.0
昨年実績		3.1	1.0	2.0	3.1	1.0	2.0
安定雇用	無期転換	—	無期転換権の付与	—	—	応じられない	—
雇用環境	私傷病休職	—			—		
	育児時短	(小学校3年生まで)			(小学校3年生まで)		
単組独自要求		育児に伴う所定労働時間の短縮措置の対象を、小学校卒業までとすることを前提に協議の開始を申入			申し入れ通り		

### 《会社の発言概要》

- 総務省の発表するCPIには、食品や日用品を中心とする44品目で構成される「普段よく買う品目」の数値も示されており、2023年は前年比6.2%の上昇だった。また、「賃上げの中小企業への波及が重要」の報道等を考えると、当社としてもできる限りの回答をしたいという気持ちと使命感は持ち合わせている。
- しかし、委託業務に関わる金庫の方針を踏まえると、金庫と一定の歩調を合わせた回答とならざるを得ず、金庫と丁寧なすり合わせを進めてきた。満足のいく回答ではないかもしれないが、諸事情を考慮したうえでの最大限の回答であることを理解いただきたい。

《加藤闘争委員長の発言概要》

- 回答結果は、組合員の割合が多くない中で、労働組合の要求主旨・想いを十分に受け止め、理解いただき、真摯に要求に向き合っていたいただいた結果であると受け止めている。
- 今闘争期間中に、労金サービスにも協力をいただきながら、仲間をひろげる取り組みを展開した結果、1名が新たに労働組合に加入いただけた。改めて、取り組みの協力を感謝申し上げたい。労働組合は、安心して働き続けられる職場、労金サービスで働くことに自信と誇りを持てるような職場を作っていきたいと考えている。そのために、今後も、労金サービスで働く仲間の組合加入をさらに進めたい。
- 今闘争の回答は、これから始まる東海労金サービス業務の金庫への内製化が大きく影響されたものだと受け止めている。その中でも、交渉を通じて、経営側からは、社員に対する生活改善・向上への想い、会社としての社会的役割発揮を発信いただいた。労働組合からも、組合員に対して、会社の「想い」を伝えていきたい。

単組は、①基本賃金について、満額回答とはならなかったものの、昨年実績を上回る回答があったこと、②一時金について、正社員は昨年同水準の満額回答が示されたこと、③無期雇用転換権について、「教育体系がしっかり整い社員のレベルアップが図られれば検討できるのではないか」との見解が示されたこと、等から基本合意を表明しました。

\*合意単組（8単組／3月19日20時20分現在）

沖縄、九州、九州（関連）、北海道、四国、四国（関連）、近畿、近畿（関連）  
東北、東北（関連）、中央、東海、東海（関連）

以 上